

「入学者の受入れに関する方針」(アドミッション・ポリシー)について

(数学科)

現代において、数学は様々な形で社会の発展に寄与しています。数学科は、このような時代に、数学の知識と素養及び情報技術によって社会で活躍できる人材を養成することを目標としています。そのために、古典数学から現代数学までの純粋数学、もう一方では計算機科学の技術と理論に関する授業を設けています。

また、本学科の具体的目標の一つに、中学校・高等学校の教員の養成があります。本学科は、中学校・高等学校の「数学」と高等学校の「情報」の両方の教員免許が取れるカリキュラムを設置しています。この内容は、教員として必要な知識の修得に十分なものとなっています。

数学科では、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 高等学校までに学習した数学並びに理科・英語の基本的知識を確実に身に付けている
- (2) 自分の考えを文章や言葉で的確に表現する力を身に付けている
- (3) 様々な問題に好奇心を持って取り組み、粘り強く考え続ける根気と集中力を備えている
- (4) 高度な数学、情報技術に興味を持ち、理論並びに応用的・実用的側面を学びたいと考えている
- (5) 次世代の養成を担う教員を目指し、教科に関する知識並びに指導力・人間的魅力を磨きたいと考えている